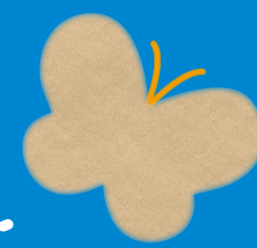


こうざんちょう

みんなで守ろう高山蝶



ヤツタカネは

ハヶ岳の

宝



絶滅危惧種

タカネヒカゲハヶ岳亜種 (通称：ヤツタカネ)

- タカネヒカゲは、北アルプスとハヶ岳の標高2500m以上の高山帯のみに生息する日本のチョウの中では最も高山性の高い種です。
- ハヶ岳に生息するタカネヒカゲは、北アルプスに生息する種に比べ成虫の翅の色調が暗いのが特徴です。
- 高山の強風に飛ばされないように、また、日光浴のため体を横に傾けます。
- 幼虫から成虫まで2～3年ほどかかり、幼虫の時はヒメスゲ等を食草にし、成虫になると高山植物の花を吸蜜します。
- 近年、気候変動やシカによる食草や吸蜜源の減少、違法捕獲により個体数が減少しており、保全対策が急務です。

原寸大 (目安)

500円玉



全長約40mm
(翅を広げた状態)

登山者の皆様へお願い

1. 生息情報を環境省までご提供ください
2. 自然環境を守るためにも登山道を外れないでください
3. 動植物を許可なく採取しないでください



タカネヒカゲハヶ岳亜種は、環境省レッドリストにおいて絶滅危惧 I A類に選定されており、令和3年、種の保存法に基づく国内希少野生動植物種にも指定されました。許可なく捕獲、譲渡等を行った場合、5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金が課せられます。

国内希少野生動植物種

検索

信越自然環境事務所作成
☎ 026-231-6573

協力：硫黄岳山荘、日本鱗翅学会信越支部
東京大学、中部森林管理局、長野県、南牧村

